

簡易郵便局を訪ねて 108

こころのふるさとであり続ける簡易郵便局

新開発簡易郵便局 (富山県射水市)



局長
海内亜矢子

地域で頑張っている簡易郵便局を紹介します。



当局がある射水市は、富山県のほぼ中央に位置しており、東西を県下二大都市である富山市、高岡市に隣接しています。二〇〇五年十一月一日、新湊市、小杉町、大門町、大島町、下村の五市町村が合併し、射水市が誕生しました。射水市は、元々、富山県を代表する神通川と庄川の間広がる射水平野の大部分を占め、中小の河川や地下水に恵まれた土地として古くから栄えてきました。

富山新港に架かる新港大橋からは、立山連峰を一望でき、隣接する海王丸パークには、「海の貴婦人」と称される帆船初代海王丸が常時停泊し、船内が公開されています。その他にも「世界で最も美しい湾クラブ」のモニユメントもあり、近くの施設では白エビやホタルイカ、紅ズワイガニ等季節に



海王丸パークの広場から見える初代海王丸

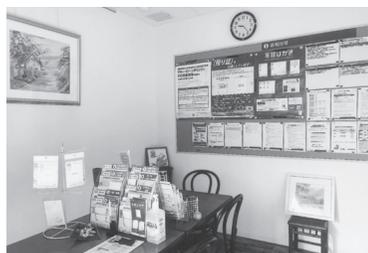
応じた新鮮な魚介類が味わえます。当局は、簡易郵便局法が制定されて間もない一九四九年十二月に、当時大島村が受託し、私の義曾祖父が事務取扱者として、自宅のあった現在の地で、大島簡易郵便局として開局しました。そののち一九七三年、役場横に当時大島町が受託する大島簡易郵便局ができることになったので、当局は新開発

簡易郵便局と名称が変更になりました。一九九七年六月に無集配特定局が開局するまで約半世紀にわたり、二つの簡易郵便局のみで郵政サービスを提供してきました。私は結婚を機に、主人の母が局長であった当局で補助者として働いていましたが、二〇一二年四月に義母から局長を受け継ぎ、現在に至っています。

当局の周りは、農業と工業、商業が程よく調和し、どちらかというと、田園風景が顕著でしたが、二〇一六年九月に射水市の新庁舎が新開発地内に落成し、去年から大型の新商業エリアの整備が進み、環境が大きく変わりつつあります。開局から今年で七十五年目を迎えますが、変わらない良さもあります。下校中の小学生が、「ただいまー」と声をかけてその日にあ



新開発簡易郵便局外観



窓口ロビーの様子



った出来事を話していつてくれるのです。子供から大人になっても心のふるさと、第二の家のよう顔をしてくれることが何よりの楽しみです。

これからも、懐かしきいつまでもたいたいと声をかけられる簡易郵便局であり続けたいと願います。
住所 〒939-0284 富山県射水市新開
発六一二